

生きる糧になるもの

岡崎美術協会

会長 山本 秀樹 氏



教育随想

十年ほど前から、自主講座で油絵の指導をしています。きっかけは、岡崎市美術館の美術教室の講師を依頼されたことからです。

当時の美術教室には、岡崎美術協会員の指導によりデッサンやスケッチ、水彩画などの比較的取り組みやすい絵画講座が開設されていました。依頼された時、これまでになかった初心者の入門的な油絵の講座を提案しました。私の専門が油絵であったことから多くの方に油絵の魅力を伝えたいという思いがあつたからです。教室では描く経験量が表現力を付け高めることにつながると考え、たくさん描くことを目指しました。指導では自身の目で見て、感じ、確かめ、そして自らの手で表現していくことを大切にしました。こうして五年間で百名ほどの方が受講され、その中の十五名ほどの方が現在も自主講座にて制作を続けておられます。皆さん、高齢になってから絵を描き始めた方ですが、その熱意と向

上心には感じします。月二回の講座には休むことなく参加し、二、三回の講座で一枚の絵を仕上げ、多い方ではこれまで七、八十枚は描いています。地域交流センターと市美術館で行う年二回の発表会を兼ねた展覧会には十号程のサイズの作品を四、五点発表しています。

岡崎には、岡崎美術展（岡展）と岡崎市民美術展（市民展）の二つの大きな美術展がありました。岡展は、七十七回の歴史をもつ、県内でも草分けの公募展で、各部門の専門家による審査がある、レベルの高い展覧会です。市民展は、審査がなく、誰でも出品でき展示される、親しみやすい展覧会です。現在、私の講座で学んでいる方々の中にも市民展で実績を積み、その後岡展に出品して受賞した方が数名みえます。二つの公募展があることで、より高みを目指すことができたのだと感じます。

このように、生涯学習にかかわる分野には生きていくための糧になる



（やまもと ひでき）

ものがあります。残念ながら数年前にこの美術教室と市民展は終了しましたが、人生百年と言われる今日、自主講座や発表会と形を変えてでも生涯学習の環境は絶やさないことが大切です。高齢者のためだけでなく、その姿を見て生きている周りの大人や子供たちにも大切な文化なのではないでしょうか。



令和7年5月1日

5月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

教育随想……………	1
岡崎美術協会 会長 山本 秀樹 氏	
この人に聞く……………	2
広島東洋カープ 投手 長谷部銀次 氏	
羅 針 盤……………	2
保健体育科指導員 大野 孝輔	
ふれあい……………	3
南中学校 教諭 飯田 衛	
特 集……………	4
学校給食 ～新メニューとして登場するまで～	
お知らせ……………	6
フォト・ヒストリー…	8
夜間ハイク(平成6年)	
この本を……………	8



自分の芯を強くもつ

広島東洋カープ 投手

長谷部 銀次 氏

二〇二四年七月二十一日、甲子園球場での阪神タイガース戦。二年目で初登板を果たし、プロ野球選手としての一步を踏み出した長谷部投手。これまでの経験から、「自分の芯を強くもつこと」が大切だと語る。—小学校や中学校の部活動から学んだことを教えてください—

小学校では、ソフトボール部に所属していました。そこで、顧問の先生が部内の目標としていた「只管只直」（しかんしちよく）という言葉に出会いました。この言葉は造語で、「まっすぐに、ただひたむきに」という意味があります。当時も投手を務めており、ボールを投げるのが楽しくて、毎日ひたむきに練習に打

ち込んでいました。今でもこの言葉を大切にしていって、現在使用しているグローブにも「只管只直」と刺繍を入れています。

中学校では軟式野球部に所属し、顧問の先生から、挨拶やきびきびした行動など、生活態度について厳しく丁寧に指導していただきました。そのおかげで、人として大切な礼儀を身に付けることができました。その後の野球人生でも、この姿勢を大切に続けた結果、指導者の方々とチームメイトからの信頼を得ることに繋がったと思います。

—プロ野球選手として大切にしていることはありますか—

「自分の芯を強くもつこと」を大切にしています。

プロ野球の世界は厳しく、常に結果を出し続けなければいけません。そのため、結果ばかり追いかけてしまい、プロ一年目は思うようにいきませんでした。まるで暗闇の中で投げているような感覚でした。自分の持ち味は一五〇キロのストレートだったはずなのに、ボールをコントロールすることはあまりに意識がいき、自分らしさを見失っていました。高校野球、大学野球、社会人野球を経験し、自分なりにいろいろな引き出しをもっている自信はありました。しかし、どれもうまくいかなくなってしまうと、どうしたらよいか

と悩みました。

そこで、一年目のシーズンオフに大学野球の先輩であるプロ野球選手に教えを乞うことにしました。その先輩から「わくわくする目標はあるか、それを考えるといい」とアドバイスをいただきました。そのときに、「自信のあるストレートで三振を奪うこと」、これこそが自分のわくわくする目標だと再確認し、持ち味である速いストレートを磨いていこうと決意しました。それ以来、何の迷いもなくストレートを投げ込むことができています。この経験から、考えがぶれることがないよう、自分の芯を強くもつことを大切にしています。この心構えが、一軍初登板につながったのではないかと思います。

—岡崎市の小中学生へメッセージをお願いします—

小中学生のみなさんには、ひたむきに打ち込めるものを見つけてもらいたいのです。そして、思い通りにいかず、壁にぶつかることがあったときには、「自分はこうなりたい」という強い芯をもち、夢に向かって進んでいってほしいと思います。



氏名

はせべ ぎんじ

生年月日

平成十年

七月二十九日

住所

岡崎市電美南



「できる喜び」を実感できる

体育科の授業を目指して

保健体育科指導員

大野 孝輔

子供は、種目と出会い、夢中で取り組むことで、できるようになりたい技や動きを見出す。そして、自分、他者、種目そのものを対象とした「する、みる、支える、知る」などの多様な関わりの中で、ねらいを実現するためのポイントに気付いていく。体育科の授業では、その先にある「できる喜び」の実感を目指したい。

A教諭は、小学校六年「器械運動」の単元で、仲間と動きを合わせて演技を構成する「シンクロマット」の実践を行った。A教諭は、子供が自分の課題とその解決策を定める場面を設定することで主体的な追究を促し、「できる喜び」の実感につなげたいと願って実践を進めた。

演技構成が概ね固まってきた単元中盤の授業で、A教諭は、前時の練習の様子を映像で振り返り、個の課題を設定する場を設けた。児童Bは、



頑張る自分、見つけよう

南中学校
教諭 飯田 衛

「小学校のとき、習字を頑張っていましたか。」

中学校初の毛筆の授業で生徒に聞いた。Aさんは、「あまり頑張っていなかった」という言葉を返した。

Aさんは、落ち着いて一つのこと集中して取り組む活動に苦手意識をもっていた。行書の特徴や書き方のポイントを考える際は、学習内容に気が向かず、級友からの言葉がけにもふざけ半分の言葉を返すなど、落ち着かない様子だった。

次の授業では、Aさんは習字道具を忘れてきた。

「私が小さいときに使っていた道具、貸すよ。」

「うまく書けないからいいない。」

そんなやり取りを何度が続けた後、「私の習字の先生が、『習字は人生』と言っていたよ。丁寧に頑張って書

けば、何かいいことがあるかもよ。」

頑なになっているAさんの心をほぐそうと、あえて明るく言ってみた。

「ええ、そんなのないよ。」

「試しにやってみたら、きつと晩ご飯に好物が出るって。」

何の根拠もない話を並べながらも、前向きになれるように推し続けると、「本当に」と話にのって来た。

字形がうまくとれないことも考え、手本を薄くコピーしたなぞり書き用紙を渡してみると、Aさんは慎重に筆を動かした。本人が言うほどつたないわけではなかった。

「習字、けっこう書けるね。」

「こんなのぞっているだけ。」

「本当に苦手な人はきれいな字が書けないよ。」

「そうかな。」

げんそう顔のAさんに対し、称赞と声かけを続け、授業を終えた。その日の授業の振り返りには「とりあえず書いた」だけ記されていた。

三回目の毛筆の授業でAさんと顔を合わせると、こちらが話しかけるよりも先に「俺、今日は道具、持ってきた」と笑顔で報告をしてきた。

この日、Aさんが設定した課題は「きれいに書く」。自分の道具の準備を整え、紙に書く。失敗したら次の紙にまた練習する。自分が書いた字とじっくり向き合う、Aさんの真剣な眼差しがうれしかった。普段なら周りの話し声に興味が移ってし

まうようなときにも、目線を筆先から離さずに集中し続けていた。

「今日、すごく真剣に書いていたね。声かけるのもためらっちゃうくらいだった。頑張って書いた分、うまくなっているよ。」

片付け中のAさんに話しかけると、「頑張った。人生うまくいくわ。」と、少し照れながら明るく答えた。

その後の毛筆の授業でもAさんは真剣な表情で練習に励み、担任の先生にも「俺、けっこう習字頑張ってるよ」と話すようになった。

二期最後の学年集会で、これまで書き初めの練習に取り組んできた一年生全体に質問をした。

「うまい下手は別で、毛筆の授業に精一杯頑張った人。」

多くの生徒が挙手をする中、指先までしっかり伸ばし、晴れやかな顔つきで手を挙げるAさんの姿があった。



「チームの演技がばらばらなのは、自分の技が小さいから」と述べ、「もつと跳び前転を大きくしなければならぬ」と課題を設定した。続けてA教諭は、課題解決への仮説を立てるよう促した。児童Bは、「Cさんと隣で練習する。様子を映像で見えて違いを探せば、コツが見つかるかもしれない」と記した。

追究が進み、演技ごとに映像で動きを見直す児童Bに、A教諭が進捗を問うた。児童Bは「Cさんは、『くの字』のまま回転している。僕は、腹の辺りがつぶれている」と述べた。A教諭が児童Cに「Bさんの気付きを聞いて、どう思うか」と問うと、児童Cは「僕は回転の時、腰が頭の上を越えるまで『くの字』を続けている。越えたらつぶしてもよいと思う」と返した。児童Cの発言を受けた児童Bは、回転時の腰の開き具合を調節しながら繰り返し練習に励み、跳び前転の技能を高めることができた。A教諭による一連のファシリテーションにより、児童Bが「できる喜び」を実感した一幕であった。子供が「できる喜び」を実感するために教師が仕掛けを打つ瞬間こそ、体育科の授業の山場である。それは、個の課題を設定する場であり、解決に向け追究を進める場であり、上達を確かに自覚する振り返りの場である。場に応じたよりよい支援の在り方を模索し続け、誰もが「できる喜び」を味わう授業を目指す。



▲愛知の人気給食メニュー「キムタクごはん」を食す（福岡中学校）

学校給食 新メニューとして 登場するまで

学校給食の提供には、栄養教諭や調理員など、多くの人が携わっている。「いろいろな食材に、様々な味わい方があるということを知ってほしい」「苦手な食材も食べられるようになってほしい」などの思いから、多種多様な取組が行われている。

学校給食メニューコンクールは、岡崎市保健部保健政策課が主催し、平成二十一年に始まった。募集テーマは、栄養教諭の提案を基に、主催者との話し合いで決定する。毎年、五月から募集を始め、地元の食材を使用することや、食材は加熱することなどの応募条件がある。家庭科の授業で学んだ成果として応募するケースも多いという。最優秀賞、優秀賞を受賞したメニューは、新メニューとして給食で提供されている。

新メニューを給食で提供するためには、大量調理特有の問題を解決する必要がある。例えば、大きな釜で野菜を炒めると、水が蒸発しにくく、水っぽくなりやすいため、切り方の工夫や調味料の調整などが必要である。他にも、栄養バランスや適切な量、価格調整も含めた食材選びなどの問題もある。栄養教諭や調理員、管理栄養士、給食協会、保護者、教育委員会教育政策課給食施策係など、多くの人が連携し、試食と修正を重ねた末に、給食提供に至る。

子供たちの健やかな成長を支えたいという思いから、学校給食メニューは常に進化し続けている。毎日、給食を楽しみにしている子供たちもたくさんいるだろう。来月に提供される予定の新メニュー「えいよう満点お茶うはん」にも、大いに期待したい。

学校給食メニューコンクール 令和元年以降の「最優秀賞」受賞メニュー



- ①令和元年度
コクあり！八丁味噌混ぜごはん
- ②令和2年度
八丁みそバターの野菜スープ
- ③令和3年度
八丁味噌のカラフル酢どり
- ④令和4年度
目指せ天下統一！
かつおぶし香る梅ぼんずみそいため
- ⑤令和5年度
むらさき麦のケチャップミネストローネ
- ⑥令和6年度（令和7年11月提供予定）
プチプチ食感！岡崎八丁みそそばろ



表彰

◆第25回東海ブロック中学生
バレーボール新人大会

○男子中学生の部

第3位 矢作北中

◆第37回中部日本個人重奏コ
ンテスト本大会

〈中学校重奏部門〉

○金管八重奏

銀賞 矢作中

太田みのり・奥村 統也

米津 双葉・河本 亜緒

中西 凜・木戸 颯彩

勝田 万陽・鈴木 来実

銀賞 翔南中

前田 菜摘・西田 優依

加藤 聖真・小川 朱音

上葛 紗那・畔柳 帆望

岩倉あかり・横山 和香

○木管八重奏

銅賞 矢作中

齋藤 美緒・深見 知花

三橋 柚奈・村瀬 彩葉

三井 花・西別當音歌

富永 ゆい・清水 彰悟

〈中学校個人部門〉

○アルトサクソフォン独奏

金賞 北中 北川愛莉紗

銀賞 竜海中 下里 桜子

○フルート独奏

金賞 竜海中 眞鍋 未来

銀賞 美川中 葛葉 奈桜

◆第36回読書感想画中央コン
クール

○小学校高学年の部

奨励賞

岩津小 森 葵

◆キッド・ウィットネス・
ニュース日本コンテスト

○小学生の部

佳作 形埜小

◆令和6年度いじめ防止標語
コンテスト

全国賞

六名小 上原 大智

◆愛知県みどりの少年団交歓会

準特選

形埜小

令和七年度校長会役員

〈小中学校長会〉

会長 山本 則夫(城北中)

副会長 岩瀬 竜弥(竜美丘小)

荒河 昌吾(矢作北中)

二村 久(城南小)

石川 恒彦(細川小)

近藤 善紀(常磐中)

岡 紀平 高之(大門小)

細井 鶴貴(矢作北中)

竹平 真仁(竜南中)

稲垣 祐嗣(根石小)

小田 英宣(翔南中)

熊谷 清一(梅園小)

熊谷 清一(梅園小)

岩瀬 竜弥(竜美丘小)

二村 久(城南小)

石川 恒彦(細川小)

加藤 環(豊富小)

加藤 紀平 高之(大門小)

高之(大門小)

祐嗣(根石小)

会計補佐 本郷 一毅(北野小)

〈中学校長会〉

会長 荒河 昌吾(矢作北中)

副会長 近藤 善紀(常磐中)

夏目 弘之(額田中)

長谷川勝一(東海中)

竹平 真仁(竜南中)

板倉 眞介(北中)

鈴木 淳司(河合中)

稲垣 祐嗣(根石小)

太田 幹也(葵中)

熊谷 清一(梅園小)

成田 隆行(六北中)

大久保孝治(山中小)

真弓(矢作西小)

真弓(矢作西小)

鈴木 淳司(河合中)

板倉 眞介(北中)

石原 昌仁(美川中)

和紀(緑丘小)

和紀(緑丘小)

和紀(緑丘小)

和紀(緑丘小)

和紀(緑丘小)

和紀(緑丘小)

和紀(緑丘小)



教職員の相談窓口

【対象】全教職員 【相談内容】・勤務のこと・家庭のこと・心や体のこと 等

相談窓口	電話番号	相談受付日時	あいちこころのサポート相談(SNS)
岡崎市教職員相談ダイヤル	0564-64-3322	火曜日～金曜日 12:00～19:00 土曜日 12:00～16:30	LINE 友だち追加・ID検索 @aichi_soudan 
あいちこころのサポート相談(SNS)	右QRコード	月曜日～土曜日 20:00～24:00 日曜日 20:00～翌月曜日 8:00	
愛知県総合教育センター教育相談	0561-38-2217	月曜日～金曜日 9:00～17:00	
あいちこころのホットライン365	052-951-2881	年中無休 9:00～20:30	
愛知いのちの電話	052-931-4343	年中無休 24時間	

令和6年度 岡崎市教育研究論文 入賞者

■小学校個人の部

最優秀賞

教科名	学校名	氏 名	主 題
算 数	大樹寺小	柴田 博巳	主体的・対話的で深い学びをする児童の育成

優秀賞

体 育	男川小	伊奈 亨	仲間と関わり合うよさを実感し、体育の見方・考え方を働かせて主体的・対話的に学びを深める児童の育成
特別支援教育	男川小	近藤 朋美	お店屋さんごっこを通して、自己肯定感を高め、状況に応じたコミュニケーションを図ることのできる子どもの育成
図画工作	緑丘小	今井 優樹	豊かに自分のイメージを影らませて、いきいきと表現する児童の育成
外国語(活動)	緑丘小	杉浦 健太	目標を意識して他者と関わり合い、自分の学びを調整する児童の育成
音 楽	六名小	波多野愛子	2部合唱について理解を深め、思いや意図を表現するために他者と協働できる子の育成
図書館	連尺小	河合 教恵	自分が想像した世界を工夫しながら粘り強く表現できる子供の育成
算 数	広幡小	中神 郁海	数学的な見方・考え方を働かせる子供の育成
生 活	藤川小	松下 望羽	地域に愛着をもち、身近な人と進んで関わる児童の育成
理 科	岩津小	小川 昇汰	習得した知識を活用し、自ら学びを進めていく児童の育成
社 会	大樹寺小	可知 周平	主体的に追究し、新たな価値観をもつことができる子の育成
社 会	大樹寺小	星野 智史	社会的な見方・考え方を働かせ、仲間とともに深く学ぶ子の育成
算 数	大樹寺小	三島 雄大	主体的・対話的に課題解決に取り組む子供の育成
国 語	矢作南小	久田 麻白	課題を解決する方法を考えて、選択し、調整できる児童の育成
社 会	上地小	細井 春希	仲間とともに、社会的な見方・考え方を働かせ、よりよい社会づくりへの参画をめざす社会科の授業
体 育	小豆坂小	康本 慎吾	協働的な運動を通して、見方・考え方を働かせ、体の動きを高める児童の育成
社 会	矢作北中	中西 悠	ふるさとの社会的事象に関わる課題を自分事として追究し、思いを表現する子供の育成

■中学校個人の部

最優秀賞

教科名	学校名	氏 名	主 題
国 語	福岡中	太田 秀実	対比読みを通して、象徴表現の効果味わい、文語の魅力に迫る生徒の育成

優秀賞

理 科	美川中	青木 結唯	課題を自分事として捉え、主体的・対話的に学ぶ生徒の育成
保健体育	葵 中	鈴木 薫子	仲間とともに体を動かす楽しさや心地よさを味わう中で、自ら運動に親しもうとする生徒の育成
理 科	福岡中	東浦 廉	「見通す」と「振り返る」を繰り返し、学びを調整する力を磨き続ける子どもの育成
社 会	東海中	太田 信	社会的な見方や考え方を働かせることを通して、よりよい社会づくりに向けた新しい価値観に気付く姿の実現
社 会	常磐中	勝冶 貴志	仲間とかわりながら主体的に学び、よりよい社会づくりへの参画をめざす生徒の育成
英 語	矢作北中	浅井 菜穂	リアルな場面を想定し、自分の伝えたいことをよりよい英語で表現できる生徒の育成
理 科	北 中	磯貝 駿斗	問題解決型学習を通して、科学的に探究する生徒の育成
社 会	額田中	松浦 圭祐	社会科の見方や考え方を働かせ、持続可能な社会について考える授業
社 会	翔南中	中西 歩澄	社会的な見方・考え方を働かせ、持続可能な社会づくりを目指す生徒の育成

■共同の部

最優秀賞

教科名	学校名	氏 名	主 題
教育全般	根 石 小	現職研修部 代表 西澤由貴子	自他を敬愛し、互いに支え合おうとする子供の育成

優秀賞

教育全般	六ツ美北中	現職研修部 代表 国分 貴寛	共に学ぶよさを感じ、磨きあう生徒の育成
------	-------	----------------	---------------------

〈論文入賞者数〉

賞		最優秀	優秀	佳作	合計／応募数
小学校	個人	1	16	75	92／227
中学校	個人	1	9	32	42／ 97
小中学校	共同	1	1	3	5／ 9
合 計		3	26	110	139／333

佳作

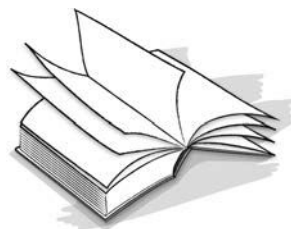
体 育	梅園小	畔柳 晶帆	道 徳	藤川小	稲垣 拡大	体 育	大門小	原田 菜琴
算 数	根石小	白井 遥	国 語	山中小	栗原えりな	体 育	大門小	原山 昇士
生 活	根石小	菅原 雪見	図画工作	山中小	石川 寛政	音 楽	矢作東小	加藤 ころこ
音 楽	根石小	佐藤 明子	特別活動	山中小	島田 千絵	学習情報	矢作北小	山本 悠司
道 徳	根石小	村松 奈央	社 会	本宿小	長島 亮輔	国 語	矢作西小	稲垣 理美
理 科	美合小	早川 もも	特別活動	生平小	金子あかり	国 語	矢作南小	立山 颯馬
総 合	美合小	今村 有佐	学校保健	生平小	中村さくら	生 活	矢作南小	岩田 柚季
国 語	緑丘小	小柳 美紅	総 合	生平小	杉本 智恵	生 活	矢作南小	服部 隼大
社 会	羽根小	西村 文利	国 語	秦梨小	橋村 潮	国 語	六ツ美北小	駒月 亮
体 育	羽根小	福興 佑希	算 数	常磐南小	栗野康之介	生 活	六ツ美北小	杉浦 由菜
特別支援教育	羽根小	可知 実希	理 科	常磐小	安藤 春稀	図画工作	六ツ美北小	細井 雄介
総 合	羽根小	内田 裕斗	体 育	常磐小	土居 駿斗	体 育	六ツ美北小	安藤 優
算 数	岡崎小	松原 美佑	外国語(活動)	常磐小	村瀬 花実	体 育	城南小	林 紗菜
家 庭	六名小	康本 健吾	特別活動	常磐小	福岡 真幸	国 語	上地小	杉本 光
外国語(活動)	六名小	北山 貴一	総 合	恵田小	大原 泉	外国語(活動)	上地小	天野 圭祐
図画工作	竜美丘小	横田 舞	社 会	細川小	江本 望	国 語	小豆坂小	常山友美佳
体 育	竜美丘小	加藤 哲士	体 育	細川小	佐藤 佑哉	国 語	小豆坂小	山田 桃葉
国 語	連尺小	今井 美羽	特別支援教育	岩津小	空中 健一	算 数	小豆坂小	達城 優菜
算 数	連尺小	福田 彩那	社 会	大樹寺小	澤 一生	道 徳	六ツ美南小	早川 瑠実
体 育	連尺小	太田 航平	算 数	大樹寺小	鈴木 佑芽	理 科	夏山小	杉浦 一輝
体 育	連尺小	光田 理菜	算 数	大樹寺小	松下 修大	国 語	形勢小	山本 悠哉
社 会	井田小	安原 宏紀	理 科	大樹寺小	大池 健太	体 育	形勢小	山本慎太郎
家 庭	井田小	久嶋晃乃巳	体 育	大樹寺小	北原 詩織	生 活	下山小	杉浦 康平
特別支援教育	愛宕小	渡邊 乃恵	生徒指導	大樹寺小	可知 周平	学校保健	下山小	平松 沙季
算 数	福岡小	太田 奈穂	算 数	大門小	稲葉 好花	総 合	下山小	岩口 愛実

佳作

保健体育	美川中	小田 琴音	社 会	東海中	太田 信	図書館	北 中	白形 奈穂
社 会	南 中	辻 和佳	社 会	東海中	坂井 麻緒	数 学	六ツ美北中	国分 貴寛
音 楽	南 中	坂井 滉平	保健体育	東海中	有田 海人	理 科	六ツ美北中	徳 尚和
特別支援教育	南 中	蜂須賀一輝	技術・家庭	岩津中	富樫 和美	技術・家庭	六ツ美北中	鈴木 尚美
数 学	竜海中	江口 京弥	国 語	矢作北中	次井 祥太	英 語	六ツ美北中	野本 佳佑
保健体育	葵 中	後藤 麻由	数 学	矢作北中	大原 洋平	保健体育	六ツ美北中	森 友輝
道 徳	城北中	川野 志穂	美 術	新香山中	加藤 朱実	保健体育	六ツ美北中	若尾 遥香
国 語	福岡中	中根 知哉	保健体育	新香山中	佐宗 敬泰	理 科	翔南中	渡邊 翔也
総 合	福岡中	本間佐知子	保健体育	竜南中	片岡 沙織	保健体育	翔南中	太田 雅也
学習情報	福岡中	都築 日香	総 合	竜南中	岩川 皓司	保健体育	梅園小	成田 隆二
国 語	東海中	板倉 拓巳	数 学	北 中	渡會 大貴			

佳作

教育全般	美 合 小	現職研修部 代表 和泉 篤
教育全般	大樹寺小	現職研修部 代表 山本 純子
生 活	六ツ美中部小	2年生部会 代表 前原 佑衣



夜間ハイク (平成6年)

写真提供：六ツ美北中学校

中学二年生の子供たちが、竹島海岸を目指して歩いている。深夜に学校を出発し、約二十キロの道のりを六時間ほどかけて歩き、海岸で日の出を待った。

六ツ美北中学校では、平成四年の開校以来、立志に関連した行事として、夜間ハイクを実施していた。そのねらいは、心身の鍛錬や、生徒が困難を乗り越えて目的を達成する成就感を味わうことである。校歌に縁のある遠望峰山や三ヶ根を経由地としたこの取組は、平成十年まで行われた。

人生の節目で成長を振り返り、新たな気付きと決意を抱く場。時代と共に形は変わっても、大切にしていきたい。



豆腐の味が変わった日があった。気になった子供たちが栄養教諭に質問すると、食材の高騰もあるが、不足する栄養素を補うために新しいものに替えたとの回答を得た。

家族や地域への愛情を基に献立が考案される。給食は、地元の食材や食文化を学ぶ教材でもある。味覚とともに、携わった人の心まで味わいたい。

ど ホ ッ

五月



▲バケツで田植え (福岡小)

ボールを投げる楽しさを味わいながら、日々部活動に打ち込んできた。小中学校時代の学びが、自分の原点になっていると、長谷部投手は語る。

プロ野球の世界に飛び込み、様々な困難は、自分の持ち味を再確認することで乗り越えた。明るく爽やかなその姿は、子供たちにとって憧れの存在である。今後の活躍を願う。

爪や手に付いた絵の具を洗い落とす時間を惜しみ、慌てて教室に戻ってくる学級旗係。グラウンドからは、全力でリレーの練習に取り組んだ選手たちが、汗を拭いながら帰ってくる。

体育大会に向けてそれぞれの役割を果たしながら団結し、表彰式で呼ばれたクラス名に歓喜の声を上げる、あの瞬間を夢見る。



*教育にひそむジェンダー 中野 円佳
筑摩書房 ￥800

心に残った一文

社会的に女の子らしいもの、男の子らしいものを当てはめる言動は現代もなお、日常の中に溢れている。

入学時に配られる通学帽が、男女問わずキャップ型になった。好みの色のランドセルで通学する子供の姿が今や普通である。

男の子が青などの寒色、女の子が赤系統の暖色を好むのは、性別の特質ではないと筆者は説く。社会や大人が刷り込んでしまっている「ジェンダーバイアス」によって意識づけられるものであると。

学校では、男女混合名簿が定着している。しかし、必要のない男女の区別を行っていることが、まだあるのではないか。ジェンダーや多様性という観点で、教育活動を再点検する必要があると思う。

*ヒット曲のすごい秘密 中島さち子
青春出版社 ￥1,180

*学力喪失 今井むつみ
岩波書店 ￥1,160

*隣人のうたはうるさくて、ときどきやさしい 白尾 悠
双葉社 ￥1,700

北野小学校 本郷 一毅